

| 教材教具および題材           | 学部 | 授業名（主たる教科領域）    | 執筆者 |
|---------------------|----|-----------------|-----|
| 見通しをもった活動と日常生活の過ごし方 | 高  | ホームルーム<br>Ⅱグループ |     |

<ねらい>

- ・自分で時計を見て起床・就寝できることをねらいにしながら、情緒の安定を図る。
- ・普段の生活で守るべき約束をカードで確認し、落ち着いて過ごせるようにする。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①ラミネートしたシートに毎日就寝時間・起床時間をマジックペンで書かせ、保護者のチェックと自分のチェックを○で書かせるようにした。
- ②約束を端的な絵で示し、ラミネートカードにした。

教材①



教材②



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ①保護者と自分チェックの、○が3日、1週間、1ヶ月と続く度に賞状を渡しモチベーションを上げた。それが功を奏し、興奮して早朝に起きてしまった場合でも、布団の中で7時まで待って起床することができるようになった。
- ②その都度カードを取り出し、繰り返し約束を確認することができた。